

第1回 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会

議事概要

- 1) 開催日時 : 令和3年11月16日(火) 10:50~12:20
 2) 開催場所 : 丸森町役場 302会議室
 3) 出席者

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学大学院	工学研究科教授	田中 仁	委員長
東北大学	災害科学国際研究所准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所准教授	柴山 明寛	
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	平舘 淳一	
宮城県	大河原土木事務所副所長	熊谷 滋雄	
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	
丸森町商工会	会長	白木 寛一	
丸森町消防団	団長	佐野 昭一	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	副委員長、欠席
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	復興対策室長	日下 健	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	宍戸 光晴	

4) 議事次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 設置概要説明
 - (1) 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会設置趣意書について
 - (2) 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会に関する設置要綱について
- 5 委員長選出及び副委員長の指名
- 6 検討事項
 - (1) 検討委員会に関する公開方法について
 - (2) 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用について
 - (3) その他(今後のスケジュール)
- 7 閉会

5) 協議結果

(2) 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用について

施設配置計画について

(主な意見)

- ・2つあるボックスカルバートのうち川側も埋めてフラットな上面とし、水防センターの建物を設置すると川側の眺望の良さを活かすことができる。
- ・平常時の住民や観光客の利用を想定し、資材の見えを意識した配置・成形の工夫を検討してほしい。
- ・拠点施設となる水防センターから船着場等のある川側へ下りる坂路を整備してほしい。
- ・敷地への進入路が既存の交差点のみではわかりづらいため、新たな進入路整備を検討してほしい。丸森大橋の整備により町内を通過する交通流も変化しており、いかに町内に誘導するかが課題である。
- ・災害時の車両受入台数や避難方法など、具体的な想定に基づいた配置計画としてほしい。
- ・防風林としての機能および公園利用を想定し、植栽を計画してほしい。

水防センターについて

(主な意見)

- ・水防センターを町のゲートウェイとするためには、道の駅や川の駅等の枠組みも活用し、建物の規模や機能を拡張させることを検討したい。建物のデザインも重要な検討項目である。
- ・丸森町に住み始めた人や観光等で外部から来た人へ、防災の観点から水害を含む町の歴史や土地利用の変遷を紹介できる施設となると良い。教育旅行等の受け入れを想定する際、施設内のレイアウトの検討も重要である。
- ・拠点施設の規模や機能は、運営を担う事業者の利活用メニューや経営力から判断し、持続可能な事業としていくことが重要である。

平常時利活用について

(主な意見)

- ・平常時は公園のような場所や阿武隈ライン舟下りの拠点として利活用し、地域の交流・憩いの場としたい。
- ・外部からの観光利用だけでなく、地域の子どものための日常的な利用のため、内川に川遊びの場を整備してほしい。
- ・町のゲートウェイを目指す場合、町内の他の施設・拠点への誘導方法や交通手段についても議論していきたい。
- ・防災ステーションのすぐ脇にあたる丸森大橋下流側に新たな船着場を整備し、あわせて船の航行に配慮してほしい。
- ・丸森橋下流右岸の高水敷を過去に(社)阿武隈川環境整備公社より整備いただいたが、さらなる利用促進に向けて遊歩道の整備や樹木の伐採を検討したい。

検討の進め方について

(主な意見)

- ・防災ステーションの整備の他、道の駅やかわまちづくり等、他事業の枠組みを活用する可能性があるが、トータルデザインを議論する場を設け、一貫性のある検討としたい。

(3) その他 (今後のスケジュール)

・事務局

第2回検討委員会(日程調整中)で委員会案を取りまとめ、それを住民説明会にて説明し、第3回で住民意見を踏まえた素案を取りまとめる予定。